

若い女性は「占い」がお好き?

セントラルパークにオープンした「タロット占い」

占い——その人気は根強いものがあるようだ。

とりわけ若い女性の間には定着してしまっただ、といっても過言ではないほど。

宅占、街占など、場所もいろいろあり、種類も人相、手相、姓名判断・星占い・バイオリズム・生まれ月占い・干支占い、などなど、様々だが、今回、少少めずらしい占いが登場した。タロット、である。

文字通りタロット・カードを使って占うもので、しかも占う側は若い美人連——。

場所は、こなた、若い女性がひしめきあう、名古屋・栄のセントラルパーク。

も少し正確に言えば「東通りタケガ横」で、毎週土・日曜日と祝祭日に「店開き」する。時間は正午から七時まで。

この占い、若い女性ばかりの集団「てんぶれす企画」のメンバーが交替で二人ずつ、タロット

トを使用して、悩みごとや未来などを占ってくれる。その名も「タロットQ」という。

三月からオープンしたが、評判は上々。

やはり、客層は若い女性やカップルが多い。それに混ざって

結構中年の「オジサマ」もいるそうだ。

このタロット・カード、正式には「タロウ・カード」と呼ぶ

（作家・都築道夫）——英語ではTAROTと書くから、タロットと呼んでしまいうだが、

最後のTは発音しない。

イタリア語ではタロッキ、フランス語ではタロ、ドイツ語ではタロック。フランス語にタロウと読む。

いわゆるトラップの前身で、魔法や占星術、ジプシー占いに使用され、米国でも現在、これを流布中。

魔法や占星術、ジプシー占いに使用され、米国でも現在、これを流布中。

魔法や占星術、ジプシー占いに使用され、米国でも現在、これを流布中。

魔法や占星術、ジプシー占いに使用され、米国でも現在、これを流布中。

文化

も一回り長い七八枚のカードで、メイジャー・アルカナと呼ばれる二枚、マイナー・アルカナと呼ばれる五六枚でなりたっている。アルカナとはラテン語で秘密を意味し、それぞれ大神秘、小神秘と訳せるだろう。

カードには、魔術師、行者、死神、太陽、星などの絵が描かれている。その一枚ずつに意味があり、カードの組み合わせによって占うもの。

絵柄が神秘さを感じさせるせいか、いま流行りのコンピューターを使った電算機占いより信頼されているらしく、同じくセントラルパーク内にある電算機占いに「頭ひとつ」差をつけているとか。

やはり、白い紙に活字でプリントされた、味も素っ気もない解答では、なにやら画一的な気分にもなるだろう。

それに、同じ若い女性という安心感も大きく作用する。「照れることなく悩みごとや心配事をハッキリといわれるので、占うポイントも絞りがやすく」とは現代「易者」の弁。

占い料金は一件につき一〇〇円と、このテの占いにしては格安。さらに男女のペアで占ってもらう場合は、二人がそれぞれ一件ずつで一五〇〇円。

「タロットQ」という名称なので、占いはタロットだけかといえ、占いは、他にいろいろ占えるんだそうだ。

「でも、タロットを主体にするつもり。どうしてもといわれるひとは、手相も」と。

誤解のないようにしておく、タロットQでは、二枚のカードを使用して占っているが、これは、何も「手抜き」ではない。それなりに、流行語で表現すれば「なんとなく、クリスタル」に占うことができるのだ。

——が、なんにしても、占いは「オレは信じないよ」と大言壮語してみたって、イザ「あなた……の可能性があります」と占われると、なんだか、そんな気になってしまから不思議である。信じることは別段、恥ずかしいことでもなんでもないわけだ。